

令和 3 年度「星空の街・あおぞらの街」全国協議会表彰について

○環境大臣賞

- ・団体賞 : ^{びせいちょうかんこうきょうかい}美星町観光協会 ^{いばらし}【岡山県井原市】

国内初の光害防止条例を制定するなど光害への意識が高い地域で、30 年以上にわたり星空環境保全活動を継続して行っており、地域おこしの要である「星の郷・美星」を基軸として、地域資源である美しい星空の保全活動の中心的な役割を担い、地域発展のために尽力している。

さらに、国際ダークスカイ協会（IDA）による「星空保護区コミュニティ部門」認定を目指して、IDA 認証の照明器具開発をメーカーに依頼し、クラウドファンディングにより町内の防犯灯をこれに交換するなど、行政・事業者・住民などと連携して、地域の特色である美しい星空の保全を通じて、地域に根差した観光振興を積極的に推進している。

- ・個人賞 : ^{みなと}湊 ^{よしみ}善実 氏 ^{きょうとふ}【京都府】

1998 年から 20 年以上にわたり、和束町教育委員会を通じて小学生を対象とした年複数回の天文教室を継続して開催し、星空観察における指導的な役割を果たしてきた。特に、2018 年 4 月に 25 年間の幕を閉じた加茂町プラネタリウム館では、2000 年から夜の観望会開催や山城中学校 3 年生を対象とした宇宙学習会などを開催するなどして天体観測教育を支援してきた。

また、他府県からの修学旅行で訪れる高校生に対しても農業体験「農泊」の一環として、天体観測の機会を設けるなど天体観測を通じて、自然環境の大切さへの意識啓発につながる活動を行っている。

○全国協議会会長賞

・団体賞：ひょうごけんりつまいこうとうがっこうてんもんきしやうぶ兵庫県立舞子高等学校天文気象部【兵庫県神戸市】

1974年の創部以来、長きにわたり活動を継続しており、部員は星空案内人認定制度「はりま宇宙講座」に参加し、1年生で「準案内人」、2年生で「案内人(星のソムリエ)」の資格を取得するなど、知識や技術向上に努めている。

部活動は校内だけに留まらず、習得した知識や技術を活用して小学校・公園・商業施設などでプラネタリウムの上映や月・惑星・恒星の観察など複数のメニューで観望会を開催し、地域住民との交流を通じて、美しい星空や綺麗なあおぞら環境の保全の重要性を地域社会に発信しているほか、部活動内での研究結果を積極的に発表するなど、美しい星空・あおぞらを守るための啓発活動を継続して行っている。

・個人賞：わたなべ ひとし 渡邊 一司 氏【おおいたけんうさし大分県宇佐市】

昭和57年に小学校教諭とし奉職以来、現在に至るまで、園児・児童・生徒・成人を対象とした星空観察会を毎年継続して累計100回以上開催しているほか、天文現象の写真を撮影し、数多くの写真が新聞記事に取り上げられるなど、天体の魅力を発信する活動を通じて、地域社会へ天文学などの自然科学に対する関心や意欲・態度を高める環境教育を実践している。

加えて、日々の授業を通して自然科学に対する関心や意欲を助長するため、理科教育の中ではPM2.5等の大気汚染物質や地元河川の水質調査など大気環境や水環境の意識啓発に尽力し、子供たちへ自然環境保全の大切さを伝える活動を長年にわたり続けている。